



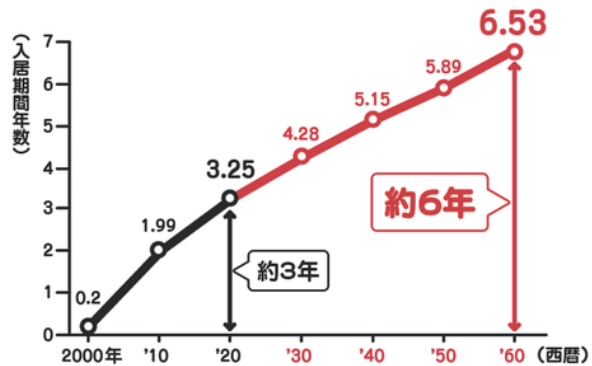
「午後2時だけど、オムツは替えなくていいのかね」
入居者がそう問いかけたが、
老人ホームの職員はうつむいて何もこたえなかった。
もう何を言ってもムダなのだ。

一度は倒産した施設、
居場所があるだけまだましだと思って
我慢するしかない、自分に言い聞かせた・・・

● 経営悪化の原因は…長生き！？

たとえ高級な老人ホームでも、
あくまでも利益追求の「**会社経営**」です。
その経営計画が、
想定外の入居者の長生きで崩れ、
全国的に老人ホームの倒産が相次いでいます。
少しでも長生きされると困るのが老人ホームです。
勿論、その金銭的な内事情は
経営者やスタッフ行動に自ずと現れます。
全てがお金で計られる価値観では、**老人ホームにとって**
ご高齢者はもはや「商品」に過ぎないのが実情なのです。

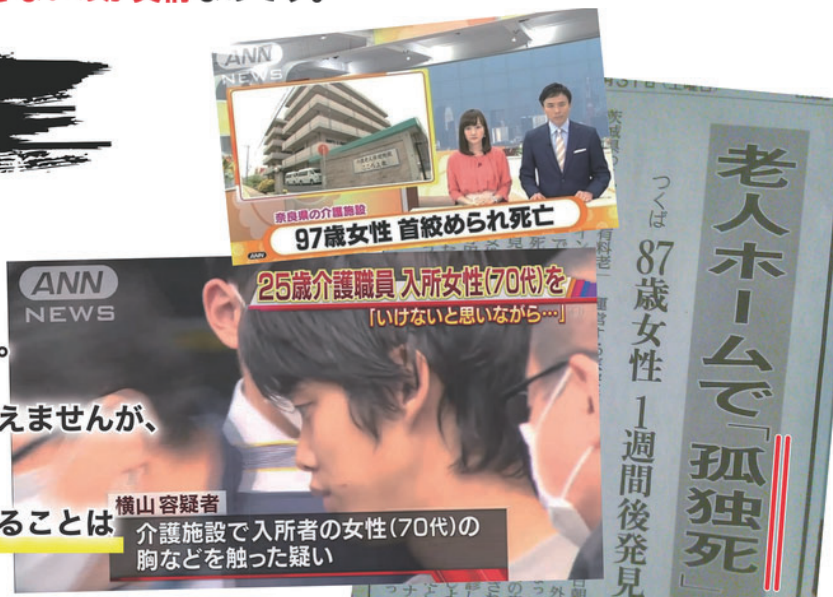
年々伸びる入居期間 (平均寿命からの推計)



● 虐待の実態・・・

子育てと同じく、
介護は**愛情**が無ければ
決して出来るものではありません。

全ての施設で必ずしもこうとは言えませんが、
先述のような経営体制で、
スタッフがそのような精神を維持することは、
非常に厳しいのが実情です。



● 老人ホーム破産後はどうなるのか？

老人ホームはあくまでも一般の「企業」であり、**「破産」してしまえば全てが終わり**ます。

低価格でも、高級でも破産リスクはあります！
入居一時金も帰ってこず、無一文になった状態で、
市が用意したボロアパートで余生を過ごす・・・
という話もあります。

人の一生を預かる側の「責任感」

そして、自分の余生を預けるご高齢者側にも、見極める力が求められる時代です。

老人福祉・介護事業の倒産状況



全国で提携する「助け合い・自給自立体制」で 子ども、若者、ご高齢世代を守る！

戦後、助け合いの価値観が失われ、

子ども世代・若者世代・ご高齢世代の関係が希薄になりました。

それにより、

お金があっても安心できない「劣悪な介護環境」のみならず、
「子どもの心の教育不足」「少子高齢化」「若者の貧困」などが
発生しています。

私たちは、この国がずっと、良い国であり続けられるように、

- ① 子ども・若者・ご高齢世代が安心できる「助け合い」の町
- ② 国民が食べるものは、自分たちで作れる「自給自立体制」の町を
全国各地に作りました！

自分たちで、生活に必要な物や、食べ物を作れるので
老人ホームの課題である「破産」という概念がありません。

本当の安心を得る事が出来ます。

その町で、子供・若者、そしてご高齢世代を守ります！

将来、老人ホームや病院で余生を過ごす事を考えている方は、ご連絡ください。

ご自宅への介護スタッフ派遣・ご高齢者の町への入居など、様々な協力体制があります。



ご関心のある方は、
お気軽に
[お問い合わせ](#)ください。

© 2008-2023 日本の未来を考える会

日本の未来を考える会 北海道旭川事務局

メール: nmkinformation@gmail.com

FAX: 0166-30-1391